

のぐち英一郎

こんなこと 実現しました!

実現 100回を超える 本会議質問で 実現!

実現 よりよい税金の使いみちへ

実現 文化芸術スポーツあふれる まちへ

実現 安全のための公共事業

実現 困った時に一人にしません!

市電線路や交差点の 段差を解消! LINE通報システムも稼働!

歩行者やベビーカー・車椅子利用者、車の安全運転確保のため、市内15か所の市電線路や交差点の環境を改善。さらに、坂元中校区を中心に歩道や渋滞道路の整備に取り組みました。道路の損壊部を鹿児島市に直接LINEで通報できるシステムも実現しました!

市営住宅入居要件の緩和! 既存エレベーターの 防災対策スタート!

単身入居の拡充、18歳以下の子どもがいる世帯の申込み要件の緩和、所得要件の見直し、連帯保証人制度の改善などを推進して市営住宅により多くの方が住みやすい環境を実現しました。また、既存エレベーター45基の防災対策をスタートし、安心・安全な住環境整備を進めています。

コネ人事廃止へ! 適正な人事を応援し続けます!

本市の決算に関する書類を提出する財団や協会などの施設における不透明な採用人事について、個人質問を通じて廃止を実現。以降、適正な採用システムのもとで74名が雇用され、採用後、業務に必要な資格を取得した人数は9名に!

これから まだまだ 実現したいこと!

八重山を 自然破壊から守ろう

鹿児島の水がめ、鹿児島市で登山ができる最高峰の山・八重山を景観資源として公式認定し、巨大風車8基のビジネス計画による自然破壊を阻止

スケートパークを実現!

長年の要望が実を結び、BMXも楽しめるスケートパークが与次郎に誕生します。アーバンスポーツの振興と若者の健全な活動の場の拡充を目指し、引き続き環境整備を推進してまいります。

出前トーク、いつでも駆けつけます!

他にも...

孤独死・残置物保険等 対策のスタート

不登校支援の選択肢拡充

手話通訳の派遣報酬 引き上げ

公園の禁止看板の改善 など実現しました!

電動バスに試乗! CO2を削減!

- 原発災害で孤立可能性のある避難所2つにヨウ素剤の備蓄を
- 孤独死ゼロ&災害弱者ゼロ! 多言語対応で在住外国人の社会的孤立をなくす
- 省エネ健康(断熱)建築の推進! 酷暑対策に道路はシラス舗装へ
- 支援をすぐに! 申請でもらえるお金制度をまとめた一覧表を作成
- 補聴器の補助金を
- 生活保護の代理納付対象を拡大し、孤独死ゼロを確実に
- 土曜授業の見直しを!
- 学校給食のオーガニック化を推進&ムスリム対応をスタート
- 自転車が本当に安全に通行できるまちづくり
- 危険な道路を拡幅し、通学や部活動の移動を安全に!
- 猪・アナグマ・サルなどの獣害対策を強化
- 椋鳩十さん生誕120周年! 生まれ故郷との文化交流を実現
- 朝ドラ「虎に翼」でもお馴染み世界的なダンサーユリナジアさんの「新おはら節」を広めます!
- 鴨池の長水路をみんなに親しまれる場所へ! 定期清掃を実施

のぐち英一郎とかたるかい 2025 ご案内

5月31日(土) 13:30開場 14:00~15:30 県民交流センター 中研修室 第一 [無料]

※換気対策してお待ちしています。

ご予約をお願い致します 080-4314-1121

よく相談受け付けています!

生活苦、パワハラ、セクハラ、雇用の問題、ヤングケアラー。プライバシーは必ず守りますのでどんな問題でも安心してご相談ください。

Do not struggle alone, Please call.

英語での生活相談にも対応します。

困った時に一人にしません! /

【あとがき】 私はこれまでことあるごとに、インターンの学生に「クイックスタート・スモールサクセス(まずはチャレンジする。小さな成功体験を積み重ねる)」を提案してきました。動けは変わる実践として「ランドセルが重たすぎる問題」「経費を気にして教室のエアコンが使われない」など、子どもたちと環境を整えてきました。時代は常に移り変わります。人口が急激に減る時代に「何もかもこれまでどおり」ではあまりに無責任です。心からの安心や日常の安全を実感できる税金の使い方を確実に進めていきます。

無所属2人会派・にじとみどり団長 のぐち英一郎

のぐちの実績・活動はまだたくさん! ホームページ、SNSをご覧ください! 鹿児島市議 のぐち

にじとみどり のぐち英一郎

TEL.080-4314-1121

✉ eiichiro-n@po2.synapse.ne.jp

✉ @entaku40

✉ @eiichiro2000

✉ のぐち英一郎

✉ entaku.info

このニュースに関するすべてのお問合せはこちらまで

ホームページはこちら!

公式LINEに登録ください!

ほぼ年刊 鹿児島市議会議員 にじとみどり 市政報告ニュース 2025年号

のぐち英一郎 ニュース

困った時に一人にしません!

地元の税金は地元で回して、元気な鹿児島市を!

福祉! 鹿児島市の事業を地元業者へ発注!

防災! アート・デザイン!

インフラ整備! 公共交通の予算増!

食!

鹿児島市の税金の使いみち、こうしましょう!

鹿児島市のお金がどんどん外へ...

関連の業者! 海外製! なんだかもったいない...

道路の陥没事故も心配だなあ...

インフラも老朽化...

税金の使いみちを変えて、鹿児島ファーストのまちづくりを!

みなさんは、おなじみの黄色のク灰袋が海外製ってご存知でしたか? 鹿児島市では「ベンチあふれるまちづくり事業」が始まりましたが、そのベンチは関東から運ばれてきます。他にもたくさん税金による注文が価格競争重視で鹿児島市の外から調達されています。また、埼玉県八潮市の道路で大きな陥没事故が起きたように、50年近く私たちの暮らしを支えてきたインフラが朽ちていく状況です。

鹿児島市の1年間の予算は全体で約5千億円。私はその大切な税金を、価格競争から総合的評価による競争にすることで、徹底的に地元にお金が回るように変えていくべきだと考えます。老朽化する公共施設を地元企業が省エネリフォームする、市の広報物を地域のクリエイターに発注する、学校給食の食材を鹿児島の農家さんからの購入をもっと増やす、他にも文化芸術、福祉や防災、地域へお金が回ること消費も活発化して鹿児島市が元気になります。暮らし

の質が上がり、同時にモノの移動による地球温暖化への影響も減ります。人口減少の時代です。30年間進まない賃上げ、不登校と学びの確保、子育て世帯の貧困合併5町の発展、人手不足、倒産の増加、若年層の流出、頼れる身寄りのいない一人暮らしの激増、認知症共生社会、在住外国人の増加、氷河期世代の老後、買い物・投票難民と移動の権利など数多くの問題が存在します。生活保護申請の手伝い、孤独死ゼロアクションの必要性も増えています。同時に桜島大噴火や大規模災害、地球沸騰とも言われる環境の厳しさにも対応が必要です。そのためにも、私は「質を上げながらうまく縮めるまちづくり」を提言し続けています。税金で担う安全で快適な暮らしを維持するために「再編や統合・縮小や撤退」の議論と行動が必要です。

これまでの提案が実現して、ダンボールベッドは鹿児島市内で作られるようになりました。「DEE(多様で公平で誰も取り残さないこと)」と「鹿児島ファーストのまちづくり」は両立できます。そのために地域内でお金を回し、元気な鹿児島市をつくりまします!